

福井県勝山市の恐竜

1989年から続く福井県の恐竜化石発掘調査事業では、フクイラプトル、フクイサウルスの命名と全身骨格の復元、フクイティタンやコシサウルスの命名、恐竜の幼体の骨や足跡化石などの発見があり、恐竜たちの暮らしが明らかになってきています。



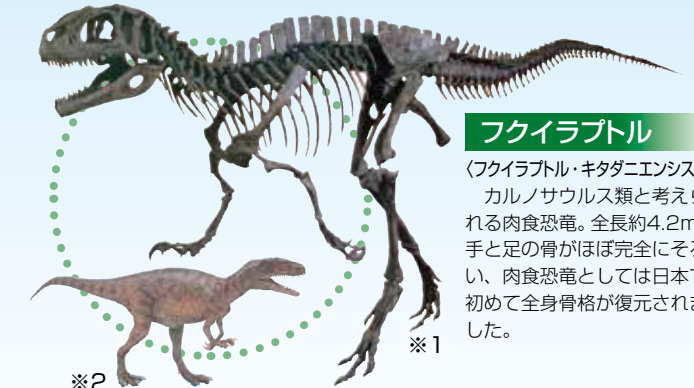
発掘の様子

コシサウルス

〈コシサウルス・カツヤマ〉
フクイサウルスと同じイグアノドン類の草食恐竜で、勝山に由来する名前がついています。白亜紀前期の福井には、同じグループの草食恐竜が住み分けられるほどに豊かな環境があったことが分かります。左下：発見された上あごの骨



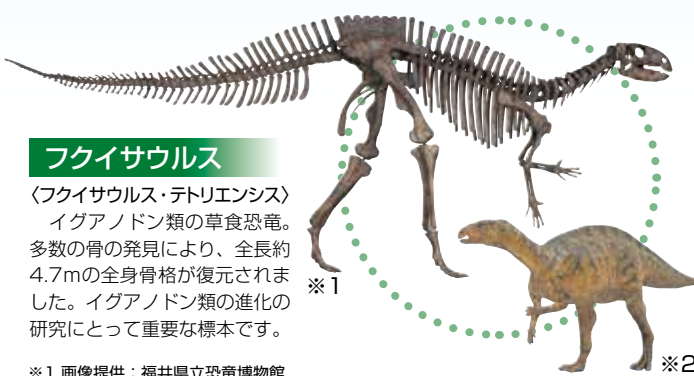
※1



フクイラプトル

〈フクイラプトル・キタダニエシス〉
カルノサウルス類と考えられる肉食恐竜。全長約4.2m。手と足の骨がほぼ完全にそろい、肉食恐竜としては日本で初めて全身骨格が復元されました。

※2



フクイサウルス

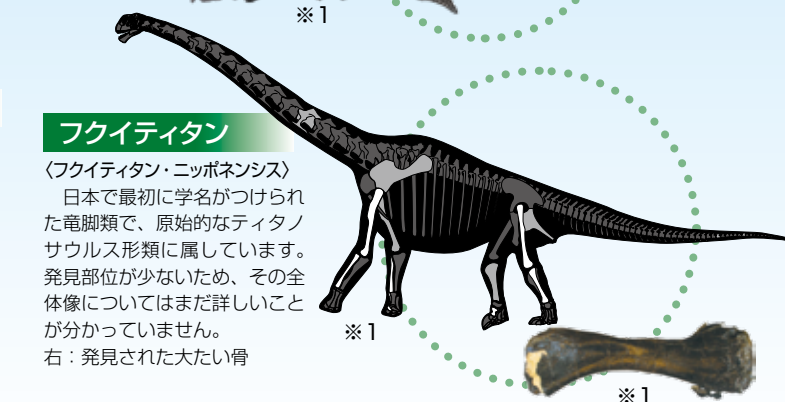
〈フクイサウルス・テトリエンシス〉
イグアノドン類の草食恐竜。多数の骨の発見により、全長約4.7mの全身骨格が復元されました。イグアノドン類の進化の研究にとって重要な標本です。

※1

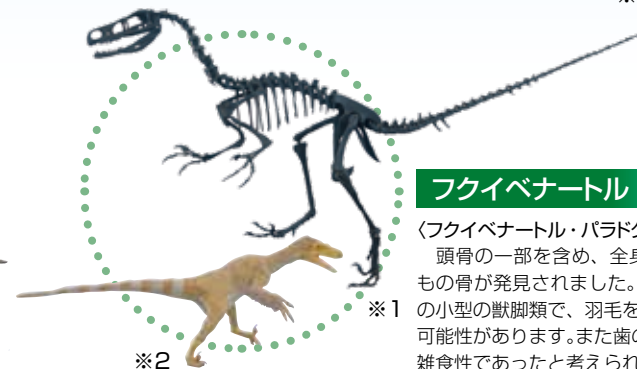
※1 画像提供：福井県立恐竜博物館
※2 模型製作：荒木一成

フクイティタン

〈フクイティタン・ニッポネンシス〉
日本で最初に学名がつけられた竜脚類で、原始的なティタノサウルス形類に属しています。発見部位が少ないため、その全体像についてはまだ詳しいことが分かっていません。右：発見された大たい骨



※1



フクイベナートル

〈フクイベナートル・バラドクスス〉
頭骨の一部を含め、全身の約70%の骨が発見されました。全長2.5mの小型の獣脚類で、羽毛を持っていた可能性があります。また歯の特徴から、雑食性であったと考えられています。

※1

※2

勝山の大地の形成



日本列島は大陸の一部だった（～2000万年前）



日本海が開いて多くの島がある海になった（～1600万年前）



西日本が時計まわりに東日本が反時計まわりに回転した（～1200万年前）



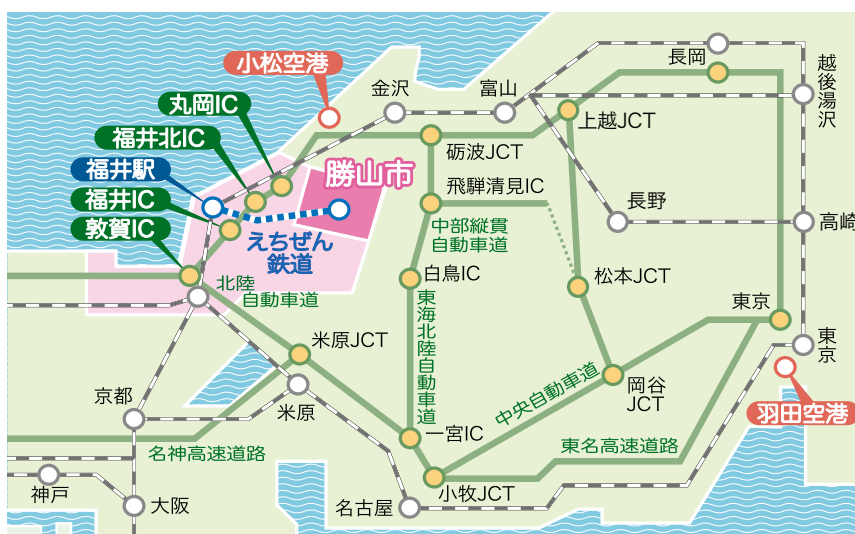
約100万年前の日本列島

野田・後藤(2004)より

恐竜が生息していた頃は、日本列島というものは存在しませんでした。日本列島は中国大陸の一部だったのです。やがてプレート（岩盤）の運動によって2000万年前から日本海ができ始め、さらに火山活動が活発になり、現在のような日本列島が形成されました。かつての勝山は中国大陸の一部だったため、中国や朝鮮半島から発見されるものとよく似た化石や同じと考えられる岩石が地層の中から見つかります。

アクセス方法

▶▶県外からのアクセス



▶▶公共交通機関でのアクセス

JR福井駅 徒歩 1分 えちぜん鉄道 福井駅 かつやま永平寺線 約1時間 勝山駅

▶▶自動車でのアクセス

北陸自動車道	福井北IC 丸岡IC → 国道416号 経由	約35分
中部縦貫自動車道	白鳥IC → 国道158号 → 国道157号 経由	約1時間半
	石川県白山市白峰 → 国道157号 経由	約30分

ジオパークガイドについて

ツアーなどにおいて、知識豊富なジオパークガイドを派遣しています。下記の連絡先までお気軽にお問い合わせ下さい。

ジオパークに関する連絡先

〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1 勝山市役所内
恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会
TEL 0779-88-1111 FAX 0779-88-1119
URL <http://www.city.katsuyama.fukui.jp/geopark/>
Mail fk-geo@city.katsuyama.lg.jp



このパンフレットで紹介している各ジオサイトは、車やレンタサイクル等で現場付近まで行くことができますが、山あいのジオサイトについては、天候や季節等によりアクセス林道の通行が制限されたり、禁止されたりする場合があります。初めて山あいのジオサイトを訪れる皆さまには、勝山市や福井県立恐竜博物館等が開催するジオツアーや、自然観察会等の各種メニューに参加されることをおすすめします。

ジオパーク拠点施設

勝山市ジオターミナル

勝山市村岡町寺尾51-11
☎0779-87-0023
🕒12/29～1/2



ジオパーク関連施設

福井県立恐竜博物館

勝山市村岡町寺尾51-11
☎0779-88-0001
🕒第2・4水曜日
（臨時休あり、夏休みは無休、12月29日～翌1月2日休み）



はたや記念館 ゆめおれ勝山

勝山市昭和町1丁目7-40
☎0779-87-1200
🕒12/29～1/2（臨時休あり）
■手織りコースター作り体験
まゆ玉のクラフト体験



白山平泉寺歴史探遊館 まほろば

勝山市平泉寺町平泉寺66-2-12
☎0779-87-6001
🕒毎週水曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始



スキージャム勝山

勝山市170-70
☎0779-87-6109
🕒シーズン中無休
■滝しぶきツーリング など



かつやま恐竜の森（チャマゴンランド）

勝山市村岡町寺尾51-11
☎0779-88-8777
🕒12/29～1/2

■恐竜化石発掘体験
■クロスカントリー、スノーシュー体験（冬期）



恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク

DINOSAUR VALLEY FUKUI KATSUYAMA GEOPARK



福井県の恐竜



恐竜はどこにいたのか？

大地が動き、大陸から勝山へ

ジオパークとは

「ジオパーク（Geopark）」とは、地形、地質遺産を野外や博物館などで実際に見て、本やインターネットでは得られない手触りや体験、その迫力から「地球」や「大地」の秘密や歴史を探り、自然や人間の生活にどのように関わっているか考えることができる場所のことです。



恐竜はどこにいたのか？ 大地が動き、大陸から勝山へ

勝山で発見される恐竜化石は、その変動する大地とともに大陸から勝山にやってきました。恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークは、恐竜が大陸で活躍していた恐竜時代から化石として勝山で発見されるまでの「恐竜、恐竜化石」を中心とした時間軸の中で起こった様々な地球活動の遺産やそれらに関連する豊かな生態系、歴史・文化など人々の暮らしぶりなどに触れ、「勝山らしさ」を楽しく学び、体感できる場所です。

勝山の大地の歴史

勝山で恐竜化石が発見される

1989年から始まった発掘調査により勝山市北谷町にある恐竜化石発掘地では、約1億2000万年前の地層から多くの恐竜化石が発見されています。恐竜化石やその他の動植物化石から当時の古環境の解明が進んでいます。

→①福井県立恐竜博物館 →②かつやま恐竜の森

河岸段丘が形成される

市内の中心を流れる九頭竜川のはたらきにより、階段状の地形（河岸段丘）が形成されました。縄文時代から現代まで勝山の人はこの階段状の地形の上で生活を続けています。

→③七里壁 →④大清水 →⑤九頭竜川

経ヶ岳が大崩壊をおこす

数万年前、成層火山であった経ヶ岳の脆弱な部分が大規模な山崩れを起こしました。崩壊に伴う岩屑なだれは、平泉寺地区東部一帯の谷を土砂や岩塊で埋めつくしました。

→⑥大矢谷白山神社の巨大岩塊 →⑦池ヶ原湿原 →⑧堰ヶ壁

火山活動が盛んになる

日本列島が形成された後、陸上で活発な火山活動が始まりました。経ヶ岳や法恩寺山、取立山といった1,000mを超える山々はこの頃に火山活動を行っていました。温泉やスキー場もこれらの恩恵です。

→⑨スキージャム勝山（芳野ヶ原台地） →⑩弁ヶ滝
→⑪白山平泉寺旧境内 →⑫ミズバショウ群生地

日本海、日本列島が形成される

約2000万年前から、地球のプレート運動により大陸から大地が引き離され日本海、日本列島が形成されました。日本海は多量の雪を降らすなど勝山の湿潤な気候に影響を与えています。

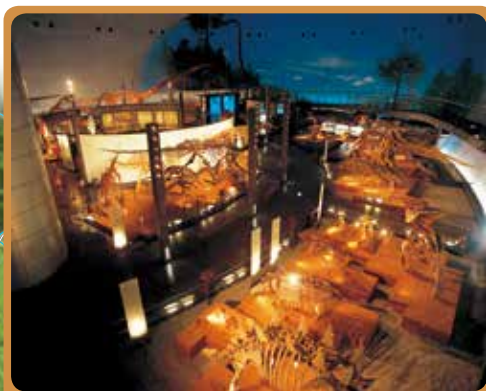
→⑬谷のブナ林 →⑭はたや記念館ゆめおれ勝山

勝山で恐竜が生息する

今から約1億2000万年前、今の勝山が中国大陸の東の端にあった頃には広大な大地で恐竜たちが生息していました。その恐竜や動植物が河川の堆積物に覆われ、地層となりました。それが今日の手取層です。

→⑮恐竜化石発掘地

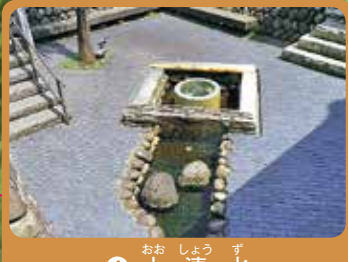
恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク



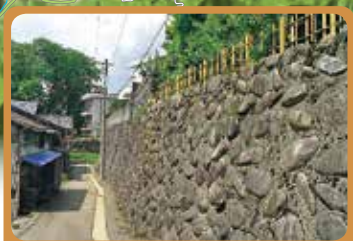
① 福井県立恐竜博物館
「恐竜の世界」のほか「地球の科学」「生命の歴史」の3つのゾーンがあり、46億年の地球の歴史を楽しく学べる



② かつやま恐竜の森（化石発掘体験）
発掘地から運ばれた岩石を使った化石発掘体験ができるほか、ジオパークに関する様々なイベントを開催している



④ 大清水
「七里壁」の段丘崖の下から湧き出ている大清水は、昔から生活用水として使われてきた



③ 七里壁
九頭竜川右岸沿いに見られる河岸段丘の崖は、その長さから「七里壁」と呼ばれている



⑤ 九頭竜川
勝山盆地の河岸段丘などの地形をつくり、人々の生活の場所を提供してきた福井県最大の河川



⑥ 大矢谷白山神社の巨大岩塊
高さ20mを超える岩の塊は、経ヶ岳の大規模な山崩れの際に、山頂付近から流れ下ってきたもの



恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークは、福井県勝山市全域をエリアとするジオパークです。

この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。（承認番号 平25情使、第72-GISMAP32616号）



⑮ 恐竜化石発掘地
約1億2000万年前に堆積した恐竜化石が眠る白、黒、茶色などのしま模様の地層が観察できる



⑭ ゆめおれ勝山
勝山の湿潤な気候や豊富な地下水を活用し発達した絹織物の歴史を紹介している



⑬ 谷のブナ林
急傾斜地を雪崩から守るために受け継がれてきたブナ群落地が広がる



⑫ ミズバショウ群生地
取立山の県境稜線上の湿地部分にミズバショウの群生地があり、雪解けの頃2000株以上の花を咲かせる



⑪ 国史跡白山平泉寺旧境内
「苔寺」とも呼ばれる白山平泉寺。境内は一面苔のじゅうたんが敷かれたように美しい



⑧ 堰ヶ壁
岩屑なだれの末端部を九頭竜川が浸食した高さ約40mの崖



⑩ 弁ヶ滝
滝全体が溶岩によってつくられており、柱状と板状節理が発達している



⑦ 池ヶ原湿原
岩屑なだれ堆積物が地すべりを起こして形成された低層湿原で、貴重な動植物や昆虫が生息する



⑨ スキージャム勝山（芳野ヶ原溶岩台地）
芳野ヶ原周辺に広がる溶岩台地はなだらかな斜面を活かしてスキーゲレンデとして利用されている
画像提供：（株）東急リゾートサービス